

# なみき通信



令和7年度 桜並木学園つくば市立並木小学校学校だより 1号 R7.4.08

## 令和7年度スタート！ ご入学 ご進級おめでとうございます

保護者のみなさま いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。令和7年度のスタートとともに、並木小学校にも心地よい、さわやかな花のにおいがまじった新しい春風が吹き込んできています。新しい学級、1つ上の学年、新しい先生、そして新しい学びの機会に、子どもたちは少し不安を感じるものの、これから始まる新しい1年間に心躍らせていることでしょう。



本校キャラクター  
なみまる

今年度も、私たちの学校は「創ろう！みんな(子ども・保護者・地域の方々・教職員)が幸せな並木小学校」をテーマに掲げ、子どもたちが安全安心な環境で学び、「かしこく あたたくく たくましい児童の育成」を目指し、成長できる環境・教育活動を提供していきます。「チーム並木」として、子どもたちの不安を和らげ、子どもたちが成長して、笑顔になり、並木小学校に通えることが幸せと思える学校づくりをしていきたいと思っております。

また、保護者のみなさまには、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。家庭と学校が一体となって、子どもたちの健やかな成長を支えていくことが何よりも大切であると考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 大村 千博

## 特色ある学校教育を行っていくために

昨年度の12月から3月にかけて、全教員で並木小の子どもたちにさらに伸ばしていきたい認知能力、非認知能力などの話し合い、SWOT分析、コミュニティスクール推進委員会が出た意見を受けての話し合い、学校評価アンケートやつくば市の幸せな学校づくりアンケート等の結果を受けた分析と話し合い、令和7年度に目指す児童像や育てたい力、その力を育てるために行っていく教育活動などを協議のテーマを少しずつ変えながら、繰り返し話し合いを行いました。

令和6年度の最終話し合いでは、本校の教育目標「かしこく あたたくく たくましい児童の育成」の「かしこく」「あたたくく」「たくましい」児童の具体的に目指していきたい姿(令和6年度の課題を受けて)とその目標を達成するための教育活動を全教員で考えていきました。

「かしこい」児童:夢中で学びに取り組む姿→自分事として捉える学習活動を充実させ、探究的な学びや対話、振り返りを通じて、学習の見通しと学習過程の振り返りのサイクルを構築します。また、質の高いアウトプットの場を設定し、ICTを活用した振り返りの記述などを取り入れます。

「あたたかい」児童:互いを尊重し、思いやりをもって関わる姿→あたたかな聴き方や優しい話し方を徹底し、心理的安全性を確保します。また、よりよくするために自分から動ける自治的な雰囲気醸成し、共感的な態度や想像力を育みます。

「たくましい」児童:向上心をもって課題に粘り強く取り組む姿→自己理解やメタ認知を深め、適した目標設定とリフレクション、改善のサイクルを構築します。さらに、楽しく運動できる活動を工夫し、休み時間や体育の時間を充実させます。 ※メタ認知:自分の考えや感情、行動を客観的に捉え、コントロールする能力

このように、並木小学校では、子どもたちが「かしこく」「あたたくく」「たくましい」児童として成長できるよう、全教員が一丸となって教育活動を進めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

桜並木学園は並木中学校・桜南小学校・並木小学校で統一のランドデザインを掲げております。のちほど、並木小学校ホームページにアップいたしますので、ご覧ください。桜並木学園ランドデザインを基に、令和6



年度の先生方の課題分析や繰り返しの話し合いを受け、令和7年度に力を入れていく項目を重点化しました。

**重点化項目 並木小**

## 桜並木学園つくば市立並木小学校

### 学校教育目標

**かしこく あたたく たくましい児童の育成**

### 令和7年度学校組織目標

自ら課題を見つけ、対話を通して深く考え、挑戦し、問題を解決することのできる児童を育てる。

### 研究テーマ

自ら課題を見つけ、対話を通して深く考え、挑戦し、  
問題解決力を育む学習活動の工夫と授業づくり

(探究的な学び：課題設定のための導入・思考を深める対話・挑戦する意欲を高める振り返り・質の高いアウトプット)

### 知 **かしこく**

夢中で学びに取り組む児童

- ①自分事として捉える学習活動の充実 探究的な学び・導入・対話・振り返り
- ②学習の見通しと学習過程の振り返りのサイクルの構築
- ③質の高いアウトプットの場の設定 ICT活用・視点を入れた振り返りの記述など

### 徳 **あたたく**

互いを尊重し、思いやりをもって関われる児童

- ①あたたかな聴き方 優しい話し方の徹底 心理的安全性
- ②よりよくするために自分から動ける自治的雰囲気醸成
- ③共感的な態度 想像力

### 体 **たくましい**

向上心をもって、課題に粘り強く取り組める児童

- ①自己理解・メタ認知
- ②適した目標設定→リフレクション→改善のサイクルの構築
- ③楽しく運動できる活動の工夫 (休み時間・体育)

創ろう!みんな(子ども・保護者・地域の方々・教職員)が**幸せ**な並木小学校

子どもが成長(できるようになって)して、**笑顔**になり、並木小で学べる**幸せ**

○子供は学校の主人公

- ①できるようになる幸せ
  - ②自分が認められる幸せ
  - ③みんなと協働できる幸せ
- 子供の可能性を信じる 3つの資質・能力を責任をもって育成する

保護者・地域が子どもの成長を目の当たりにして**信頼を!** 並木小に通わせる**幸せ**

○保護者・地域は学校の応援団 誰一人取り残すことなく大切にされているという実感  
学校とは違う視点があるから共に育てる意味がある

教職員が子どもの成長をみんなで喜び、並木小で勤務できる**幸せ やりがいを!**

○チーム並木 同僚や保護者との連携

和顔愛語

- ①子どもを理解し、寄り添う力
- ②分かりやすい子どもが夢中になる授業をつくる力
- ③学級経営・児童支援力
- ④自己成長する力(人格を磨き、教育の質向上)

→さまざまな研修に主体・積極的に参加 子どもの「ロールモデル」となる努力

### 特別支援教育の充実

- ①配慮を要する児童の共通理解(困難さ・よさを把握)
- ②保護者・関係機関等との連携
- ③みんなが安全安心な学校生活(特別支援教育の視点を生かした学級経営・わかりやすい授業)

コミュニティ・スクールを基盤とする保護者・地域と共に児童を育む

活力ある学校づくり(社会に開かれた教育課程)

- ①児童・家庭・地域の実態やニーズを把握して、課題を明確にし、自主性・社会性を醸成
- ②地域にある学校としての情報の発信と受信(年間を通した学校公開)
- ③地域人材の積極的な活用
- ④計画的な学校評価の実施と活用
- ⑤なみまる学校教育パートナー(保護者や地域の方々)と共に教育活動を活性化